

# 第3回戦略会議レポート 2017/9/4 湯沢町役場



スーパー民宿の視察を栄村で行ってきた。  
**■地域おこし協力隊奥田氏挨拶。**  
 移住者の視点も含め観光に携わらせていただく。

## 清水先生より 国と観光庁の動きについて

ブランド確立支援事業が今年度で終わる。観光庁も新メンバーになり議論をしてきた。

①観光圏の枠組みを続けるかどうか。ブランド確立支援事業の5年補助が終わる。基本方針の中身は議論しているがインバウンドを中心とした受け皿になってほしい。質の高い観光の受け皿になるブランドの確立・滞在交流型観光の実現、DMOの構築など。

②観光圏5年間の成果としてブランド観光地域という認定を頂きたい。157の候補法人のうち要件を満たしたところは認定し、世界水準のDMOを100作りたい。世界水準のDMOとブランド観光地域は表裏一体になっており、議論を進めているところ。

③観光圏は地域DMOに比べ先に進んでいるのでインバウンドの広域周遊の受け皿になるという前提でDMOと関連民間団体に事業費1/2を補助したく議論を進めている。

## 【ツーリズムエキスポ】

13観光圏全体のシンポジウムを行い、ブースを出す。外国のAGTIに向けた商談会やPRをかけてセミナー等を開く。日本版DMOを核としたUndiscovered Japanは旅行会社・OTAからの関心が高い。

観光圏の強み

■統一した**共通のマーケティング調査**を毎年行う。

観光庁の基準に沿ったデータ。

■**Undiscovered Japan** での情報発信。

■**サクラクオリティ** 宿泊施設等の品質管理に自主的に取り組む。(日本の観光は質の管理を行っていない)

## 雪国観光圏の理念

### 『100年後も雪国であるために』

ひとつずつでは埋もれてしまう地域資源を発掘し、つなぎ合わせ、磨き上げることで世界に通用する価値を生み出す。

## 雪国観光圏のブランドコンセプト

### 『真白き世界に隠された知恵に出会う』

## 各WG 29年度の動き

### ■雪国文化WG / 佐藤座長

観光として文化財活用、文化財を活用した観光振興の可能性を探る。昨年度は冊子発行、今年度はシンポジウム。来年度は雪国観光圏内にある石造物(津南に3000体)4万団体位の石造物がある、野仏などを冊子にまとめたい。清水先生:歴史文化を踏まえ再構成・編集・訴えていくか。これが観光関係者の役割。

### ■観光協会連携WG / 深津座長欠席 大口氏代理

- ・観光圏HPの観光情報整理。講習会開催。
- ・旅行商品の相互販売
- ・イベントアンケート結果分析

### ■食文化WG / 岩佐座長

- ・参加者の満足度は高いが、告知不足を問われる。
- ・回覧板・市報・ケーブルテレビや有線放送などSNS以外の発信方法があるのでは。
- ・清水先生:DMOは民間と行政の中間にある。

### ■スノーカントリートレイルWG

- ・9月にオープニングイベントをやる予定だったが延期。
- ・すべての許認可をクリアにし年度末にプレスリリース。
- ・群馬県県境トレイルとかぶっており町と県で折り合いが済んでいない部分もある。



## 雪国文化研究WGシンポジウム

地域を広げてみて・学ぶをテーマに文化財を活用した観光振興を観光庁、文化庁とともに考えるシンポジウムを11月11日に開催。翌日は城ガールのいなもとかおりさんと共に荒戸城などを巡るツアーを予定。

佐藤座長)シンポジウム開催に関しての戦略会議での総意を確認したい。

清水先生)今の時代文化観光に取り組まないとい観光が成り立たない。観光協会は地域文化を背負っており、文化が磨かれる中で住民のプライドの醸成にもつながることを理解してほしい。

## 食のブランド化WG 第2・3回

・年に何度か開催する魚沼食の学校。

第2回 魚沼食の学校 やさい塾7月22日 内田悟氏／築地御厨(みくりや)店主。参加者118名

第3回 魚沼食の学校 8月26日 遠藤千絵氏／魚沼伝統野菜 夏野菜を彩り豊かな料理に 43名  
次回第4回は、9月23日 中美恵氏／多くの方のご参加をお待ちしております。

・料理が好きな方々の間のコミュニケーションが広がったようだ。

・PRや周知が足りないのではないか。というご意見も頂戴しているので皆様ご協力をお願いします。



## その他連絡事項



【ブランド観光地域の要件】

ブランド価値、ブランド価値の提供、  
ブランド管理、来訪者の評価

次年度予算案に対し、この方針に基づき様々な事業を行うことに対して、ご審議いただきたい。

・スーパー民宿を15店舗増やす。

・コアなファンを100人作る。

・サクラクオリティ・A級グルメを100軒に。

地域の方に理解し、参加してもらう。具体的に参画し、パートナーとしてやる  
来年度は観光圏の補助がないので自治体からのお金をベースにやっていく  
必要がある。

清水先生: 並行して議論しなくていかなければいけないのが新たな整備計画。  
7市町村が何を一緒にやらなくてはならないのか。マーケティング調査・  
Undiscovered Japanとしてのアピール、品質認証の重要性を再確認し議論を。

## 清水先生から



首長会議を11月までにやらなければ  
ならない。何のために7市町村で  
やっているのかを考え、予算を決めて  
いただきたい。  
コンセプト・事業の中身をきちっと。

## 事務局から

■モデル地域支援事業について

・A級グルメ・サクラクオリティ・着地型商品を作る  
やる気のある事業者を推薦ください。

■サクラクオリティにお声がけを。

■ツーリズムEXPOジャパン(資料ご確認を)

\*次回戦略会議は、10月6日(月)13時30分～湯沢町役場で開催です。  
DMOの方20名位がオブザーバーで来られる。

連絡先: 一般社団法人雪国観光圏事務局  
新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢2431-1  
TEL025-785-5353 FAX025-785-6767